

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日本企業の海外投資収益、24年に初の30兆円 4分の1は米国から

・日本企業の海外投資からの稼ぎが2024年に初めて30兆円台に乗った。米国からの収益が全体の4分の1強を占めて最も多く、企業買収や工場建設を拡大してきた効果が表れている。トランプ米大統領の関税政策を受けて米国経済は先行き不透明感が強まっており、過度な米国依存を警戒する声上がる。

◆5月就職内定率、前年並み76%で4割が就活終了 民間調査

・就活情報サイトを運営するキャリアタスは2026年春に大学・大学院を卒業する学生の就職内定率が5月1日時点で76.2%だったと発表。前年同月比で0.7ポイント下回ったが、1～4月時点でいずれも前年を上回り、就職活動の早期化が続く。就職先を決めて活動を終えた学生は全体の36.4%と同0.9ポイント上昇。

◆変動利付国債、27年1月以降に発行開始 財務省

・財務省は新しい変動利付国債を2027年1月以降に発行すると明らかに。半年ごとに市中金利の変動に連動して適用する利率が変わり、償還までの期間は2年と5年を候補とする。日銀が国債の買い入れ減額を始めたことを受け、財務省は多様な投資家に国債の販売を広げようとしている。変動利付国債はその一環。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆モノタロウ、「物流銀座」茨城に新拠点 過去最大の500億円投資

・製造業や建設関連向け資材のネット通販大手、MonotaRO(モノタロウ)は水戸市内で物流拠点の起工式を開催。約500億円を投じ、2028年5月に稼働させる計画。同社にとって茨城県内で3つ目の物流拠点になる。高速道路や港湾へのアクセスの良さから、県内では大規模な物流施設の稼働・建設が相次いでいる。

◆トラック規制強化、超党派で議員法案提出へ 運賃制限や免許更新制

・自民党を含む超党派の国会議員は今国会にトラック運送業の規制を強める法案を提出。自民党は国土交通部会などの合同会議を開いて概要を了承。事業者が継続して原価割れで輸送しないように制限。免許を5年更新制にすることが柱で、運転手の処遇改善につなげる。人件費やトラック運送の適正な原価を算定を求める。

◆子育てグリーン住宅、申請可能時期を「基礎工事完了以降」に変更

・国土交通省は子育てグリーン支援事業において新築住宅の交付申請手続きの要件を変更。交付申請が可能になる時期を「一定以上の出来高の工事完了以降」から「基礎工事完了以降」とする。申請時の提出書類や工事出来高を確認する時期、申請予約が可能になる時期についても変更を行った。

《 注目商品 》

■積水化学、「エスロハイパーAW 電池パック駆動型EF融着機」EC-75B

・建物配管用耐震型高性能ポリエチレン管『エスロハイパーAW』のEF融着向けに、発電機が不要な電源コードレスで対応できる電池パック駆動型EF融着機『EC-75B』のレンタルを開始。発電機が不要な電源コードレス。



■シャープ、プラズマクラスター衣類乾燥除湿機

・1日あたり定格18.5Lの高い除湿能力と最短74分の速乾性能を備えながら、運転音を45dB未満の低騒音で実現したプラズマクラスター衣類乾燥除湿機<CV-T190>を発売。排水の負担を軽減する新構造の「感動タンク」を搭載、使いやすさにも配慮。



■意匠性にこだわったシート仕上のゴミ収集庫

・ダイケンデザイン性・質感にこだわったゴミ収集庫「クリーンストッカー CKS-RS2型」を発売。ステンレスと高意匠なリン酸処理柄の塩ビシートを組み合わせることにより、グレーの濃淡が重なり合うようなクールな印象を演出。上部の扉は回転式で扉開閉のスペースが不要。

